

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277100968		
法人名	医療法人 社団長啓会		
事業所名	グループホーム 四葉の家 (1号館)		
所在地	静岡県浜松市北区根洗町207-3		
自己評価作成日	平成26年11月24日	評価結果市町村受理日	平成27年1月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JizyosvoCd=2277100968-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JizyosvoCd=2277100968-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	平成26年12月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

木立ちに囲まれた根洗神社は、ホームより徒歩で10分の所に佇み、利用者さんの散歩コースであり、地域の皆様との交流の場となっております。境内に咲く四季の花々、吹く風は心を癒し五感を刺激します。四季折々の祭事に出向きますと、地域の皆様は笑顔で出迎えて下さり、振る舞われる甘酒はとてもおいしく心温まります。ホームでの日々の暮らしの中に個々にあった主役の場と役割を模索し支援することにより、心身の生活リハビリとなっております。気の合った仲間との外食、カラオケ、将棋、ちぎり絵、ゲーム等のレクリエーションが日常的に行われ、利用者さんの楽しみとなっております。ホームでの生活がゆったりと安心し、有意義であるよう、ご家族様と共に職員一同連携し支援いたしております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

三方原の閑静な茶畑が眼前に広がる3階建ての事業所です。階を隔てず盛んな交流があり、ちぎり絵や家事に精を出す人、手作り将棋盤で日がな一日対局に集中する人もいて、これらはエレベーターロックもない自由な暮らしと職員の温かい見守りによって支えられています。開設13年の積み重ねは、運営推進会議で地域の一員として誇りを持って発言する利用者に表れ、敬老会では自慢の喉を披露するという社会参加も果たしています。陽だまりの中大勢で食事の下ごしらえに励む光景は、疑似家族、そのものであり、食事摂取もままならなかった人が今では外食に出かける機会が一番多くなったことにも頷ける確かさがあります。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念にもとづき職員全員で地域の一員としてかわりを持って暮らし続けるよう努力している。	階下へ書類を届ける時にも“ゆっくり一緒に楽しく”、“地域の一員として”、地区敬老会へ出席し、“役割をもって、食事作りや掃除をおこなっています。早くきれいに職員がやるのが良いのではないと指導しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所は散歩コースで近所の方との立ち話もあり野菜やお花をいただいたりする。自治会加入しており、祭典等の行事に積極的に参加している。近所も方も子供連れで遊びに来てくれる。	ふかし芋や野菜の差し入れもあり、落ち着いた利用者や散歩する職員には「電話しようか」といった声がけがもらえています。中学生の体験学習では将棋の好敵手として交流が図られました。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中学生に認知症の理解をしていただく為、体験学習の受け入れをした。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日々の様子、行事の様子を話し合い、助言をいただいてサービス向上に活かしています。	定期開催され介護相談員、地域代表、民生委員、自治会副会長、福祉会会長、利用者2～3名が参加し、地域行事やボランティアの紹介があります。本年は利用者の発言からカラオケ大会出演の運びとなりました。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護相談員が月一回来設し、相談意見など話あっている。 事業者連絡協議会への参加。	運営推進会議には長寿保険課、地域包括支援センター職員の出席があり、窓口訪問では相談事にも丁寧に応じてもらっています。介護相談員からも「利用者が役割を持ちのびのびしている」との感想が挙がっています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	朝礼研修で学ぶ機会があり外に行かれる時はさりげなく声をかけたり後ろからついていき見守りしている。家族にも身体拘束をしないケアに取り組んでいることを理解していただいている。	法人AA過程で身体拘束研修として学んでいます。職員が一人になる時間帯を除き施錠もなく、エレベーターは常時解除してあり階を隔てて将棋を愉しむ人の足となっています。職員のアンテナも高く、抑圧感のない自然な環境にあります。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	朝礼研修で学ぶ機会があり理解し虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修や会議で学んでいる。必要性のある方には支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面に基づきゆっくり説明し不安や疑問点にも十分な説明し理解納得したうえで後日契約している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からは、日々の会話から家族からは必ず定期的に意見、要望をきいている。運営推進会議で意見要望を聞き運営に反映させている。	地域へ向けた個々の想いが運営推進会議で発信されていることを議事録で視認しました。契約時は月に一度は面会に訪れてもらうようお願いし、年4回発行する『四葉だより』には担当職員が近況を添えています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議カンファレンス等で話し合っている。個別に聞いている。	職員会議には予め議題を募っています。風の強い冬季でも洗濯物が干せるスペースを確保し、乾燥機の使用頻度を減らしてコスト削減に繋げました。個人の相談に応じ、気になる職員は都度声をかけています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の悩み、やりがい等聞き努力した成果が見られるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	順番に研修に行けるように計画をしている。法人の研修は全員受ける機会を確保している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業者連絡協議会に参加している。他のグループホームと交流の機会に意見交換している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	沢山話しかけ、どんな事でも話してもらえる様、本人に寄り添いながら信頼関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者さんの様子を密に伝える事で信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今までの生活の様子を聞き、今必要とされているサービスを話し合い支援している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事は進んで手伝ってくれたり教えてくれる。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族に現在の様子を伝え、話し合っ本人と共に支えあっている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	美容院やお祭りなどへ家族の協力があり出かけている。	親しかった隣人の写真を大事に飾り、再会を心待ちにする人もあります。犬の置物の装いに編み物が得意な人がマフラーや帽子をつくり、また喫茶店や移動図書館に通うなど慣れ親しんだ暮らしが継続されています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	掃除や食事の支度などを一緒に行いながら、他の入居者と会話ができるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	施設に面会に行ったりしている。 利用者さんも行く事がある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	話題を提供し思いなどが言ってもらえるような環境づくりに努めカンファレンスなどで話し合っている。 利用者さん同士の会話にも耳を傾けている。	寛ぎの時間で何気なくでた言葉から気持ちを推し量っています。また、家族からの聞き取りや職員間で集めた様々な場面での様子も併せて申し送りノートに記録して共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時情報を把握し、話題作りに役立てている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	どのように過ごしていたか、出来たこと、バイタルチェック、介護記録を記入し、現状を把握している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族に、意見要望を聞き、毎日のカンファレンスで介護計画に取り入れている。	モニタリングは毎月担当職員がおこない、サービス担当者会議には本人にも加わってもらっています。3ヶ月ごとに見直し、体調変化には都度話合って現状に即したプランを作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に記入し申し送り、カンファレンスなどで情報を共有、見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況状態の変化に合わせたサービスが提供できるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	月一度の移動図書の利用、ボランティアの歌や踊りなどを楽しむ。地域のお祭り参加、公園散歩。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月一度の往診、必要時の受診、体調を常に主治医と相談、家族に報告相談している。	かかりつけ医以外の付き添いは家族にお願いしています。職員の受診同行と往診があるため、相談のうえ専門医以外は協力医に変更しています。往診の結果は電話やお便りで知らせています。歯科医の往診もあります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師に情報や気づきを伝え、助言を受け速やかに受診をしたりしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院側に日々の情報を提示し、病院側からも情報を得て情報を共有しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	この施設で出来る事を説明し、家族と相談しながら方針を共有、支援しています。	積極的な看取りはおこなっていません。食事が摂れなくなった場合や痰吸引、医療的処置が必要な場合は受入れが困難であることを契約時に説明し理解を得ています。状況変化に応じ早期から話し合いの機会を作る考えです。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルについて話し合い、見直し、行動ができるよう全ユニットが協力体制になっている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回の防災訓練以外にも行い、防災ずきん、食料の備蓄をしている。	消防署立合いの下、地震発生から消火、避難に及ぶ一連の訓練を実施しています。地域からも避難救助の役割参加がありました。運営推進会議では建物内部を見学して居室や避難経路を確認してもらっています。	夜間想定訓練も含め、防災体制の強化を期待いたします。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の気分を損なわないように声掛けなど配慮している。	「話を聞く時はまずは受容し、否定をしない」「排泄への誘いは耳元で、本人にわかりやすい言葉で」と伝えています。介護用エプロンを使わず調理用エプロンを着用してもらい、尊厳へのさりげない心配りがあります。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が希望を表しやすくするよう話を聞き、意向に沿うようにしてる。表情や態度を観察し何をしたいのか自己決定ができるよう促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者優先を心がけ何をして過ごしたいか、その人のペースに合わせて希望に添えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望の衣類を一緒に選んだり、希望する美容院に出かけたりしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に会話をしながら分担をし、準備、盛り付け片づけをしている。	日曜日には出来る限り下ごしらえに交わってもらい、協働が会話の盛り上がり功奏しています。「ちょうどいい大きさだね」「みんなで食べるとおいしいね」和気あいあいと食卓を囲む様子は疑似家族そのものです。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日を通じて食事量や水分量を確実に摂取できるよう声掛けしている。個人記録に記入している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛けをしている。自分で出来る事はしていただき出来ないところは介助している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表に記入し排泄パターンを把握し、失敗がないよう声掛け誘導している。	職員二人の介助を要してもトイレでの排泄に取り組んでいます。チェック表を基にパターンを把握して、布パンツにパッド使用で半数以上が過ごせています。夜間は安眠優先として個人の排泄意に沿っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多めにとるよう声掛けしたり自然に排泄できるよう、運動を行ったり散歩に行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	楽しく入浴できるよう、話題を提供し一人でゆっくり入浴する利用者もいます。	日曜日以外は毎日湯を張っています。職員が手厚い午後の時間帯を充て週3回以上をめやすとし、入浴順へのこだわりには予定表を掲示しています。柚子やお茶風呂で香りを満喫し歌も飛び出しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣や本人の体調を把握し、居室で休んだり就寝時間、起床時間もひとりひとりに合わせています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬管理表に記入し、把握に努めている。与薬は3回の確認をしている。症状の変化があれば記録し主治医に相談している。服薬の支援と症状の変化を記録し確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除、洗濯物干し、洗濯物たたみ、食事の準備、片付け、読書、ちぎり絵、将棋と楽しい生活ができるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族の協力で外出したり利用者の希望があれば車で、買い物、ドライブ、地域の行事に参加している。	冬季でも暖かい日はベンチに腰かけ外気浴をおこなったり事業所周辺の散歩しています。根洗神社の藤や百合の花見会では甘酒が振舞われ、恒例の催しとして毎年喜ばれています。ホテルでの昼食会や回転寿司、都田公園散策にも出かけています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持している入居者もいる。また力に応じ支払をして貰っている。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があれば電話をしていただいている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や、絵などを飾ったり、夏にはゴーヤのグリーンカーテンで野菜も楽しめている。	咲き綻ぶ花々が南向きのリビングの陽が温かいことを象徴しています。廊下の季節のちぎり絵に和み、また15畳ある畳の間はボランティアのステージやカラオケの練習、将棋の対局にも集中できる多目的空間として活用されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間に一人用ソファを置き一人でくつろいだり、玄間のベンチや食堂で気の合った人同士がくつろいでいる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたタンスや椅子を置いたり、家族と外出した時の写真等を飾っている。	家族の写真や大好きなぬいぐるみに囲まれた居室からは安らぎが感じられます。此処での生活に馴染めないうちは敢えて家具を持ち込まず、落ち着いた頃から徐々に好みの部屋となるよう取り計らうこともあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺が取り付けがあったり、トイレの位置がわかるよう、大きな文字で書いてある。出来る方には一人でエレベーターを使用してもらっている。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2277100968		
法人名	医療法人 社団長啓会		
事業所名	グループホーム 四葉の家 (2号館)		
所在地	静岡県浜松市北区根洗町207-3		
自己評価作成日	平成26年11月24日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成26年12月6日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

木立ちに囲まれた根洗神社は、ホームより徒歩で10分の所に佇み、利用者さんの散歩コースであり、地域の皆様との交流の場となっております。境内に咲く四季の花々、吹く風は心を癒し五感を刺激します。四季折々の祭事に出向きますと、地域の皆様は笑顔で出迎えて下さり、振る舞われる甘酒はとておいしく心温まります。ホームでの日々の暮らしの中に個々にあった主役の場と役割を模索し支援することにより、心身の生活リハビリとなっております。気の合った仲間との外食、カラオケ、将棋、ちぎり絵、ゲーム等のレクリエーションが日常的に行われ、利用者さんの楽しみとなっております。ホームでの生活がゆったりと安心し、有意義であるよう、ご家族様と共に職員一同連携し支援いたしております。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

三方原の長閑な茶畑が眼前に広がる3階建ての事業所です。階を隔てず盛んな交流があり、ちぎり絵や家事に精を出す人、手作り将棋盤で日がな一日対局に集中する人もいて、これらはエレベーターロックもない自由な暮らしと職員の温かい見守りによって支えられています。開設13年の積み重ねは、運営推進会議で地域の一人として誇りを持って発言する利用者に表れ、敬老会では自慢の喉を披露するという社会参加も果たしています。陽だまりの中大勢で食事の下ごしらえに励む光景は“疑似家族、そのものであり、食事摂取もままならなかった人が今では外食に出かける機会が一番多くなったことにも頷ける確かさがあります。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念にもとずき職員全員で地域の一人としてかかわりを持って暮らし続けるよう努力している。	階下へ書類を届ける時にも“ゆっくり一緒に楽しく”、“地域の一人として、地区敬老会へ出席し、“役割をもって、食事作りや掃除をおこなっています。早くきれいに職員がやることが良いのではないと指導しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	近所は散歩コースで近所の方との立ち話もあり野菜やお花をいただいたりする。自治会加入しており、祭典等の行事に積極的に参加している。近所も方も子供連れで遊びに来てくれる。	ふかし芋や野菜の差し入れもあり、落ち着かない利用者や散歩する職員には「電話しようか」といった声かけがもらえています。中学生の体験学習では将棋の好敵手として交流が図られました。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中学生に認知症の理解をしていただく為、体験学習の受け入れをした。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日々の様子、行事の様子を話し合い、助言をいただいてサービス向上に活かしています。	定期開催され介護相談員、地域代表、民生委員、自治会副会長、福祉会会長、利用者2～3名が参加し、地域行事やボランティアの紹介があります。本年は利用者の発言からカラオケ大会出演の運びとなりました。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護相談員が月一回来設し、相談意見など話あっている。 事業者連絡協議会への参加。	運営推進会議には長寿保険課、地域包括支援センター職員の出席があり、窓口訪問では相談事にも丁寧に応じてもらっています。介護相談員からも「利用者が役割を持ちのびのびしている」との感想が挙がっています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	朝礼研修で学ぶ機会があり外に行かれる時はさりげなく声をかけたり後ろからついていき見守りしている。家族にも身体拘束をしないケアに取り組んでいることを理解していただいている。	法人AA過程で身体拘束研修として学んでいます。職員が一人になる時間帯を除き施錠もなく、エレベーターは常時解除してあり階を隔てて将棋を愉しむ人の足となっています。職員のアンテナも高く、抑圧感のない自然な環境にあります。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	朝礼研修で学ぶ機会があり理解し虐待防止に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修や会議で学んでいる。必要性のある方には支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面に基づきゆっくり説明し不安や疑問点にも十分な説明し理解納得したうえで日契約している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からは、日々の会話から家族からは必ず定期的に意見、要望をきいている。運営推進会議で意見要望を聞き運営に反映させている。	地域へ向けた個々の想いが運営推進会議で発信されていることを議事録で視認しました。契約時は月に一度は面会に訪れてもらうようお願いし、年4回発行する『四葉だより』には担当職員が近況を添えています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議カンファレス等で話し合っている。個別に聞いている。	職員会議には予め議題を募っています。風の強い冬季でも洗濯物が干せるスペースを確保し、乾燥機の使用頻度を減らしてコスト削減に繋がりました。個人の相談に応じ、気になる職員は都度声をかけています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の悩み、やりがい等聞き努力した成果が見られるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	順番に研修に行けるように計画をしている。法人の研修は全員受ける機会を確保している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業者連絡協議会に参加している 他のグループホームと交流の機会に意見交換している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の様子を観察し、希望を聞き、ご家族に今までの生活の様子を聞いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居後もこまめに連絡を取り、要望を聞き信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時情報を基本に要望も取り入れている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に家事を行ったり、調理の方法等暮らしの中で教えていただく事多い。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	常に状態、状況を伝え相互に協力し合っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設に面会に来ていただいたり、外出し、食事、法事などに出席する。	親しかった隣人の写真を大事に飾り、再会を心待ちにする人もあります。犬の置物の装いに編み物が得意な人がマフラーや帽子をつくり、また喫茶店や移動図書館に通うなど慣れ親しんだ暮らしが継続されています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	他のフロアーの入居者の方と将棋を毎日のように対戦している。皆様で散歩、外気浴、ゲーム等行い楽しまれている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	本人を見舞ったり、ご家族に施設に立ち寄って頂いて近況を報告して頂いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族にお聞きし、今出来る事を模索している。	寛ぎの時間で何気なくでた言葉から気持ちを推し量っています。また、家族からの聞き取りや職員間で集めた様々な場面での様子も併せて申し送りノートに記録して共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に情報収集し随時本人、ご家族にも聞いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状況、状態をよく観察し介護記録、食事量、バイタルチェック、排泄表も記入している。職員連携し有意義に過ごして頂くよう努力している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議、モニタリングを通して本人、家族の意向を反映し毎日のカンファレンスにて状況意見を交換し介護計画につなげている。	モニタリングは毎月担当職員がおこない、サービス担当者会議には本人にも加わってもらっています。3ヶ月ごとに見直し、体調変化には都度話合って現状に即したプランを作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護詳細記録、介護記録、医療看護相談記録、申し送りに記入し、話し合い介護、ケアプランに反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況により、病院付き添い買い物、外食、市役所、銀行に同行している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	災害時の援助の依頼、祭り参加、移動図書館を楽しんでいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	薬の変更、受診の結果など、変化のあった場合、詳細に家族に報告し主治医よりご家族に報告していただき本人、家族の希望を聞いていただく事もある。	かかりつけ医以外の付き添いは家族にお願いしています。職員の受診同行と往診があるため、相談のうえ専門医以外は協力医に変更しています。往診の結果は電話やお便りで知らせています。歯科医の往診もあります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	状態の変化を看護師に伝え、看護指導して頂いている。 いつでも相談に応じていただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院側、家族と相談しながら今後について早期退院に努力している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所で出来る事、出来ないことを説明し、家族、医師と相談し出来るだけ支援できるようにしている。	積極的な看取りはおこなっていません。食事が摂れなくなった場合や痰吸引、医療的処置が必要な場合は受入れが困難であることを契約時に説明し理解を得ています。状況変化に応じ早期から話し合いの機会を作る考えです。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	見えるところに緊急時の対応マニュアルが貼ってある。他のユニットにも協力を要請している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	様々な場面を想定し、対応ができるよう訓練をしている。	消防署立合いの下、地震発生から消火、避難に及ぶ一連の訓練を実施しています。地域からも避難救助の役割参加がありました。運営推進会議では建物内部を見学して居室や避難経路を確認してもらっています。	夜間想定訓練も含め、防災体制の強化を期待いたします。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々の暮らしの中で、プライドを傷つけたり、気分を害さないよう配慮している。	「話を聞く時はまずは受容し、否定をしない」「排泄への誘いは耳元で、本人にわかりやすい言葉で」と伝えています。介護用エプロンを使わず調理用エプロンを着用してもらい、尊厳へのさりげない心配りがあります。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	カンファレンス、毎日の暮らしの中でも傾聴し、意見を尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本人の意思を優先している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容院に行ったり、衣類を選んで買っていたいっている。おしゃれができるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	味見をして頂いたり、調理方法を教わったりしている。食事の盛り付け、食器洗い、拭き、片付けなどを一緒に行っている	日曜日には出来る限り下ごしらえに交わってもらい、協働が会話の盛り上がりにも功奏しています。「ちょうどいい大きさだね」「みんなで食べるとおいしいね」和気あいあいと食卓を囲む様子は疑似家族そのものです。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合った食事量を把握し食事量、水分量をチェックしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛けし利用者さんによっては付き添い、介助している。不穏時は気分良くなったときケアしている。		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のチェック表をつけ、時間を見計らい、声掛け、トイレ誘導している。	職員二人の介助を要してもトイレでの排泄に取り組んでいます。チェック表を基にパターンを把握して、布パンツにパッド使用で半数以上が過ごせています。夜間は安眠優先として個人の排泄意に沿っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時飲むヨーグルト、牛乳を飲用している。提供した水分は全量摂取するよう毎回声掛けしている。リハビリ体操して身体を動かしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	仲の良い人同士で入浴し、温泉、銭湯に誘い、歌をうたったりしている。	日曜日以外は毎日湯を張っています。職員が手厚い午後の時間帯を充て週3回以上をめやすとし、入浴順へのこだわりには予定表を掲示しています。柚子やお茶風呂で香りを満喫し歌も飛び出しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々にあった時間に入床されている。眠れない時はTVを観たり談話その後本人が希望されたら入床している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方時薬表に記入し効能等把握し、何人かが確認できるシステムで薬をセットし本人が飲みこむまで見守っている。状態の変化などDRIに相談し指示得ている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の盛り付け、洗濯物干し、たたみ、ゴミ出し、などの役割を持ち、将棋、カラオケ等の趣味を持ち、買い物、外食、散歩も楽しませられている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外気浴、散歩、買い物、外食、お花見ドライブ、祭り参加など外出の機会持っている。	冬季でも暖かい日はベンチに腰かけ外気浴をおこなったり事業所周辺の散歩しています。根洗神社の藤や百合の花見会では甘酒が振舞われ、恒例の催しとして毎年喜ばれています。ホテルでの昼食会や回転寿司、都田公園散策にも出かけています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人が少額を管理し、買い物や食事に行き、ご自分で支払っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	子供や姉弟に時折電話している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花、絵、制作物等を飾り四季を感じて頂いている。	咲き綻ぶ花々が南向きのリビングの陽が温かいことを象徴しています。廊下の季節のちぎり絵に和み、また15畳ある畳の間はボランティアのステージやカラオケの練習、将棋の対局にも集中できる多目的空間として活用されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間にはソファと椅子を置き、思い思いに過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたソファやタンスを使用している。	家族の写真や大好きなぬいぐるみに囲まれた居室からは安らぎが感じられます。此処での生活に馴染めないうちは敢えて家具を持ち込まず、落ち着いた頃から徐々に好みの部屋となるよう取り計らうこともあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差なく、廊下、居室、トイレ、手すり付け、食堂、居間、トイレが一直線上にあり、わかりやすくなっている。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277100968	
法人名	医療法人 社団長啓会	
事業所名	グループホーム 四葉の家 (3号館)	
所在地	静岡県浜松市北区根洗町207-3	
自己評価作成日	平成26年11月24日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2277100968&amp;SCD=320&amp;PCD=22">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2277100968&amp;SCD=320&amp;PCD=22</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	平成26年12月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

木立ちに囲まれた根洗神社は、ホームより徒歩で10分の所に佇み、利用者さんの散歩コースであり、地域の皆様との交流の場となっております。境内に咲く四季の花々、吹く風は心を癒し五感を刺激します。四季折々の祭事に出向きますと、地域の皆様は笑顔で出迎えて下さり、振る舞われる甘酒はとておいしく心温まります。ホームでの日々の暮らしの中に個々にあった主役の場と役割を模索し支援することにより、心身の生活リハビリとなっております。気の合った仲間との外食、カラオケ、将棋、ちぎり絵、ゲーム等のレクリエーションが日常的に行われ、利用者さんの楽しみとなっています。ホームでの生活がゆったりと安心し、有意義であるように運営に携わり、職員一同連携し支援しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

三方原の長閑な茶畑が眼前に広がる3階建ての事業所です。階を隔てず盛んな交流があり、ちぎり絵や家事に精を出す人、手作り将棋盤で日がな一日対局に集中する人もいて、これらはエレベーターロックもない自由な暮らしと職員の温かい見守りによって支えられています。開設13年の積み重ねは、運営推進会議で地域の一人として誇りを持って発言する利用者に表れ、敬老会では自慢の喉を披露するという社会参加も果たしています。陽だまりの中大勢で食事の下ごしらえに励む光景は「疑似家族、そのものであり、食事摂取もままならなかった人が今では外食に出かける機会が一番多くなったことにも頷ける確かさがあります。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念にもとずき職員全員で地域の一員としてかかわりを持って暮らし続けるよう努力している。	階下へ書類を届ける時にも“ゆっくり一緒に楽しく”、“地域の一員として”地区敬老会へ出席し、“役割をもって、食事作りや掃除をおこなっています。早くきれいに職員がやるのが良いのではないかと指導しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所は散歩コースで近所の方との立ち話もあり野菜やお花をいただいたりする。自治会加入しており、祭典等の行事に積極的に参加している。近所も方も子供連れで遊びに来てくれる。	ふかし芋や野菜の差し入れもあり、落ち着いた利用者や散歩する職員には「電話しようか」といった声がけがもらえています。中学生の体験学習では将棋の好敵手として交流が図られました。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中学生に認知症の理解をしていただく為、体験学習の受け入れをした。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日々の様子、行事の様子を話し合い、助言をいただいてサービス向上に活かしています。	定期開催され介護相談員、地域代表、民生委員、自治会副会長、福祉会会長、利用者2～3名が参加し、地域行事やボランティアの紹介があります。本年は利用者の発言からカラオケ大会出演の運びとなりました。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護相談員が月一回来設し、相談意見など話あっている。 事業者連絡協議会への参加。	運営推進会議には長寿保険課、地域包括支援センター職員の出席があり、窓口訪問では相談事にも丁寧に応じてもらえています。介護相談員からも「利用者が役割を持ちのびのびしている」との感想が挙がっています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	朝礼研修で学ぶ機会があり外に行かれる時はさりげなく声をかけたり後ろからついていき見守りしている。家族にも身体拘束をしないケアに取り組んでいることを理解していただいている。	法人AA過程で身体拘束研修として学んでいます。職員が一人になる時間帯を除き施錠もなく、エレベーターは常時解除してあり階を隔てて将棋を愉しむ人の足となっています。職員のアンテナも高く、抑圧感のない自然な環境にあります。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	朝礼研修で学ぶ機会があり理解し虐待防止に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修や会議で学んでいる。必要性のある方には支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面に基づきゆっくり説明し不安や疑問点にも十分な説明し理解納得したうえで後日契約している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からは、日々の会話から家族からは必ず定期的に意見、要望をきいている。運営推進会議で意見要望を聞き運営に反映させている。	地域へ向けた個々の想いが運営推進会議で発信されていることを議事録で視認しました。契約時は月に一度は面会に訪れてもらうようお願いし、年4回発行する『四葉だより』には担当職員が近況を添えています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議カンファレス等で話し合っている。個別に聞いている。	職員会議には予め議題を募っています。風の強い冬季でも洗濯物が干せるスペースを確保し、乾燥機の使用頻度を減らしてコスト削減に繋がりました。個人の相談に応じ、気になる職員は都度声をかけています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の悩み、やりがい等聞き努力した成果が見られるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	順番に研修に行けるように計画をしている。法人の研修は全員受ける機会を確保している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業者連絡協議会に参加している。他のグループホームと交流の機会に意見交換している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	様子を見ながら声掛けをしたり話を聞いたり寄り添っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時などにも、ご家族の話に耳を傾けてよく聞くようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	全体を見ながら一番必要としている事を最優先に支援している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る家事に参加して頂いている。一緒に家事に参加しながら昔の事や知らないことなど教えて貰っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と連絡を取りながら、日々気が付いた事などを報告している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族などと馴染みの場所に出掛けたり、電話で話をしたりしている。	親しかった隣人の写真を大事に飾り、再会を心待ちにする人もあります。犬の置物の装いに編み物が得意な人がマフラーや帽子をつくり、また喫茶店や移動図書館に通うなど慣れ親しんだ暮らしが継続されています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	プライバシーに配慮しながら、その方の事を紹介し、他の方に理解してもらっている。職員が仲立ちをし入居者同士関わりやすい雰囲気を作っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院、施設に面会に行っている。親しくしていた利用者様を伴って行く事もある。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人や家族に希望を聞いたり、日々の会話の中で言葉を聞き逃さず毎日の申し送りの中で話し合っている。	寛ぎの時間で何気なくでた言葉から気持ちを推し量っています。また、家族からの聞き取りや職員間で集めた様々な場面での様子も併せて申し送りノートに記録して共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や家族から聞き取り、毎日習慣となっていた事を続けられるよう把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録、食事、水分の摂取量バイタル、排泄表を記入している。不穏時の心身の状態は経緯から詳しく記入している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人や家族の意思を把握し、要望はなるべくご本人を交えて話し合っている。聞くことのできない場合には日頃の様子を職員で話し合い計画を立てている。	モニタリングは毎月担当職員がおこない、サービス担当者会議には本人にも加わってもらっています。3ヶ月ごとに見直し、体調変化には都度話合って現状に即したプランを作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子を介護記録に記入し毎日カンファレンスを行い情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	希望あれば要望に対応している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアによる歌、踊り、自治会の祭りに参加したり、移動図書館で好きな本を借りている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月一回受診したり、往診を受けている。	かかりつけ医以外の付き添いは家族にお願いしています。職員の受診同行と往診があるため、相談のうえ専門医以外は協力医に変更しています。往診の結果は電話やお便りで知らせています。歯科医の往診もあります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週二回、訪問看護師来設、電話でも相談しています。夜間もOKです。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	症状についてしっかり情報を共有し、いつ退院して来てもいいよう準備をしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	折に触れご家族の意向をしっかり把握し、ご家族の意向をDRIに伝えていく。	積極的な看取りはおこなっていません。食事が摂れなくなった場合や痰吸引、医療的処置が必要な場合は受入れが困難であることを契約時に説明し理解を得ています。状況変化に応じ早期から話し合いの機会を作る考えです。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	見えるところに緊急時の対応マニュアルが貼ってある。他のユニットにも協力を頼むようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	様々な場面を想定し、対応ができるよう訓練をしている。	消防署立合いの下、地震発生から消火、避難に及ぶ一連の訓練を実施しています。地域からも避難救助の役割参加がありました。運営推進会議では建物内部を見学して居室や避難経路を確認してもらっています。	夜間想定訓練も含め、防災体制の強化を期待いたします。



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	長い年月暮らしてきた入居者の、その人らしい生き方を日々の生活の中で、折に触れて話を聞き、充実した毎日が送れるよう接しています。	「話を聞く時はまずは受容し、否定をしない」「排泄への誘いは耳元で、本人にわかりやすい言葉で」と伝えています。介護用エプロンを使わず調理用エプロンを着用してもらい、尊厳へのさりげない心配りがあります。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の深い思いが職員に伝えられるよう毎日声掛けをし、話を聞くようにしている。自己決定できるよう深い思いを親身になって聞くことにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外気浴、散歩等本人の希望に添えるよう心掛けている。(夏場の暑い時朝夕方の散歩)		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床後の洗顔整髪に関しては洗顔後のクリーム、整髪に関しては髪の色を希望に添えるようにしている。(出張美容室)		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しくできるよう、色、形が変わらない様、見ても好んで食べられる様にしている。利用者と一緒に盛り付け、片付けも行っている。(月一回リクエストの食事)	日曜日には出来る限り下ごしらえに交わってもらい、協働が会話の盛り上がり功奏しています。「ちょうどいい大きさだね」「みんなで食べるとおいしいね」和気あいあいと食卓を囲む様子は疑似家族そのものです。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人一人の主食の量を計っています。水分量は確認記録し、一日必要量を確保できるよう声掛けをしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声掛けをし、見守り介助しています。一人で出来ない入居者には声掛けをし出来る事はしていただくようにしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表に記入し、排泄パターンを把握しトイレでの排泄支援を行っています。	職員二人の介助を要してもトイレでの排泄に取り組んでいます。チェック表を基にパターンを把握して、布パンツにパッド使用で半数以上が過ごさせています。夜間は安眠優先として個人の排泄意に沿っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳、おやつ、サツマイモ、バナナ等を摂取していただき、水分は十分に摂って頂き、毎日体操をし便秘予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ご本人の希望に沿い入浴を行っている。見守り、介助中も楽しい雰囲気、歌を歌ったり、温泉に入っている様な気分を味わっていただくようにしている。	日曜日以外は毎日湯を張っています。職員が手厚い午後の時間帯を充て週3回以上をめやすとし、入浴順へのこだわりには予定表を掲示しています。柚子やお茶風呂で香りを満喫し歌も飛び出しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その人の体調に合わせて休んでいただいている。定期的に布団干しを行い、気持ちよく休んでいただけるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者一人一人の症状を主治医にはっきり伝えと共、薬の効能も理解するようにしている。与薬する時には誤薬しないよう、本人確認をしっかりと行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の盛り付け、洗濯物干し、洗濯物たたみ、廊下のモップ掛け、塗り絵、将棋などの生活リハビリ、レクリエーションで楽しく生活できるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近くの店に散歩を兼ね、自分の好みの物を買に行ったり、大型スーパーにも衣類などを買に行き。外食、喫茶店にも行く事もある。	冬季でも暖かい日はベンチに腰かけ外気浴をおこなったり事業所周辺の散歩しています。根洗神社の藤や百合の花見会では甘酒が振舞われ、恒例の催しとして毎年喜ばれています。ホテルでの昼食会や回転寿司、都田公園散策にも出かけています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人が希望する物を買に行ったり、支払いもして貰っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば電話をかけてもらっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・月一回の移動図書館で好きな本を借りている。 ・行事の写真は至る所に貼ってあり車椅子の方でも見る事ができるよう配慮して掲示している。	咲き綻ぶ花々が南向きのリビングの陽が温かいことを象徴しています。廊下の季節のちぎり絵に和み、また15畳ある畳の間はボランティアのステージやカラオケの練習、将棋の対局にも集中できる多目的空間として活用されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂では塗り絵をしたり、音楽を聴いたり、本を見たりしている。裁縫をしている人もいる。 居間ではテレビを観たり、横になったりしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使っていた家具を持ち込んでもらい、そのまま使ってもらっている。写真も飾っている。	家族の写真や大好きなぬいぐるみに囲まれた居室からは安らぎが感じられます。此処での生活に馴染めないうちは敢えて家具を持ち込まず、落ち着いた頃から徐々に好みの部屋となるよう取り計らうこともあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る事、わかる事はなるべくして頂きトイレも大きな字で表示し、わかりやすくしている。		